

鴨川市教育委員会 2月定例会会議録

1 日 時 平成26年2月20日(木) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時30分

2 場 所 天津小湊支所2階会議室

3 出席委員 (1) 根本新太郎 (2) 村上 修平 (3) 佐久間秀子
(4) 野田 純

4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典
(4) 原 一郎 (5) 金高 節

5 委員報告

- ・佐久間委員から、1月29日に佐倉市市民音楽ホールで元千葉県教育次長であった加茂川幸夫氏の講演を聴講したこと、冊子も立派で大変意義ある講演であったこと、講演内容としては、学校はもはや万能ではなく信頼が揺らいでいること、信頼の回復が急務であり、そのためにも法律主義に基づく学校運営と説明責任の履行が大切であること、保護者や地域を学校内に取り込んで実情を理解してもらい、共同で運営に当たることが大切であること、教育課題は最優先課題であること、ただ教育予算が十分でないことは教育施策に対する国民の期待が低いからであり、その原因は学校や教師に対する信頼の揺らぎに起因していること、教育基本法第13条が改正によってできた背景には、学校で総てを責任もって行うことは限界があることを示していること、しかしながら、個人的には本当にそこまで学校の信頼が揺らいでいるのか、講演内容の一部に本当だろうかと自問自答してみたこと、との等の報告がなされた。
- ・村上委員から、佐久間委員同様、佐倉市で開催された研修会に参加したこと、講師の加茂川氏は立派な経歴の持ち主でキャリア官僚で千葉県の教育次長もなされていたこと、学校はブラックボックスのようなところで社会から隔離された場所ではないかという話であったこと、学校と警察との間に溝があるのではないかとの話もされていたが、館山市の大和地教育委員長から学校と警察は連携がとれていて溝があることはないとの話があった、高級官僚の方が法案を出される時はアウトフレームを決めるときであり、それに従って学校が取り組まざるを得ないように仕組んでいくのかなと感じたこと、等の報告がなされた。
- ・根本委員から、1月29日に佐倉市の研修に参加したこと、会場が文化ホールであったので本市が建てようとしている多目的施設を想像し、体育館とホールがどのよ

うに併用できるのか考えたこと、会場は小ぶりで非常に良かったこと、講演の内容については、やはり高級官僚という感じがしたこと、地産地消ではないけれど、教育はその土地その土地の色や匂いがあるって良いのではないかと思ったこと、中央でいろいろ話し合っただけで国の教育の方向を決めるのだけれど、一律ではなく、その地方にあったあるいは目指す教育があっても良いと思ったこと、等の報告がなされた。

- ・一切の質疑がなく、全員の了承が得られた。

6 教育長報告

野田教育長から、1月24日に江見地区学校施設等整備検討委員会があり、校名及び園名が決定したこと、様々な意見がありましたが、最終的には「江見小学校」「江見幼稚園」「江見保育園」が選定されたこと、1月27日と28日まで安房地区教育長会で奈良県地方を中心に県外視察に参加したこと、様々なお寺を見ることができ、古都の風情や趣を直に感じることもできたこと、2月3日に大山不動尊の節分行事があったこと、2月4日に身延町から町長をはじめ、全議員が親善訪問ということで本市を視察したこと、2月5日にライトブルー賞を受賞したひまわりキッズの代表が報告のために来庁したこと、2月16日に小学生駅伝大会があったこと、曾呂小や太海小など小さい規模の学校も参加し、大変有意義な大会になったこと、同日から法政大学野球部が本市で合宿を開始したことから激励に行ったこと、ホームグラウンドの川崎は大雪の影響でグラウンドが当分の間使用できない状況にあること、教職員人事関係では第2回の南房総教育事務所長面接があり、人事が固まってきつつあること、等の報告がなされた。

- ・一切の質疑がなく、全員の了承が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市社会教育指導員の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、「鴨川市社会教育指導員の委嘱」について、資料をもとに説明がなされた。

- ・一切の質疑がなく、全員の了承が得られた。

(2) 議案第2号 「鴨川市家庭教育指導員の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、「鴨川市家庭教育指導員の委嘱」について、資料をもとに説明がなされた。
- ・村上委員から、家庭教育指導員という職務から任期が1年というのは短か過ぎるのではとの質問があり、黒野生涯学習課長より、他の臨時職員と同様、市として任期を1年と定めていることであり、教育委員会内で独自に任期を定めることは難しい現状があるとの説明がなされた。
- ・その他の質疑がなく、全員の了承が得られた。

(3) 議案第3号 「鴨川市郷土資料館長の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、「鴨川市郷土資料館長の委嘱」について、資料をもとに説明がなされた。
- ・一切の質疑がなく、全員の了承が得られた。

(4) 議案第4号 「鴨川市立図書館長の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、「鴨川市立図書館長の委嘱」について、資料をもとに説明がなされた。
- ・一切の質疑がなく、全員の了承が得られた。

(5) 議案第5号 「鴨川市青少年研修センターの指定管理に関する協定書について」

- ・黒野生涯学習課長から、「鴨川市青少年研修センターの指定管理に関する協定書」について、資料をもとに説明がなされた。
- ・村上委員から、今までも契約書はなかったのかとの質問があり、黒野生涯学習課長より、今までも契約を交わしてきたとの説明がなされた。
- ・佐久間委員から、平成26年度には補助金上限100万円とあるが、平成27年度以降は100万円の補助がないということかとの質問があり、黒野生涯学習課長より、平成27年度以降は経営収支の状況を加味して補助金額を決定することになるとの説明がなされた。
- ・根本委員から、4月から消費税10%になるが、消費税増税分を含めて補助金額かとの質問があり、黒野生涯学習課長より、その通りであるとの説明がなされた。

- ・その他の質疑がなく、全員の了承が得られた。

7 報 告

(1) 専決第1号 「物損事故について」

- ・黒野生涯学習課長から、「物損事故」について、資料をもとに説明がなされた。

(2) 専決第2号 「交通事故について」

- ・金高給食センター所長から、「物損事故」について、資料をもとに説明がなされた。

(3) 専決第3号 「交通事故について」

- ・金高給食センター所長から、「物損事故」について、資料をもとに説明がなされた。

8 その他

(1) 「3月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに各課課長から説明がなされた。

(2) 「江見3地区統合小学校・幼稚園の校名、園名」について、前田学校教育課長から、資料をもとに説明がなされた。

(3) その他

- ・「教友会」について、蒔苗教育次長より資料をもとに確認がなされた。

根本委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成26年3月20日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔 苗 茂